

2020年12月15日

名古屋高速道路公社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

栃木県信用保証協会(会長:須藤 揮一郎、以下「当協会」という)は、このたび、名古屋高速道路公社(以下、「同公社」という)が発行するソーシャルボンド(第153回名古屋高速道路債券、以下「本債券」という)を購入しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題解決に向けたプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券であり、グリーンボンドとともにESG(環境・社会・ガバナンス)投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は高速道路の新設・改築に係るファイナンスまたはリファイナンスに充当され、同公社は「高速道路の新規建設・改良工事」、「高速道路の維持管理及び長寿命化対策」といった高速道路事業を通じて、「経済活動の広域化・交流人口の拡大」、「道路構造物の高齢化」、「巨大地震リスクの高まりと気象災害の激甚化」、「お客様ニーズの多様化・高度化」といった社会的課題の解決に貢献しております。また、これらの取り組みは国連の持続可能な開発目標(SDGs)^(※)にも合致するものと考えられます。

当協会は、本債券をはじめとしたESG債への投資を継続的に実施することで、今後も持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進して参ります。

〈本債券の概要〉

銘柄	第153回名古屋高速道路債券
年限	15年
発行総額	70億円
利率	0.306%

(※)持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

本件に関するお問い合わせ先 栃木県信用保証協会 総務課 TEL:028-635-2121